

## 絢爛豪華な南部氏遠野入部行列



若き日の直義役 黒木 真二さん



祢々役 近衛 はなさん



南部直義役 あんべ 光俊さん



新田城まつり運営委員会  
高橋 芳久 会長



遠野町まちづくり協議会  
松田 克之 会長



清心尼公行列

4月29日（土祝）、蔵の道ひろば・中心市街地において、遠野町まちづくり協議会主催の、南部氏遠野入部行列が開催されました。

南部氏遠野入部行列は、今から396年前に、八戸の根城（ねじょう）南部氏が遠野に国替えとなり、4日間をかけて遠野に入部したという古事を再現するものです。

今年の入部行列には、ゲストとして、シンガーソングライターで音楽プロデューサーのあんべ光俊さん、昨年に引き続き、女優で脚本家の近衛はなさん、俳優の黒木真二さんをお迎えし、あんべ光俊さんには南部直義役、近衛はなさんには、若き日の清心尼公・祢々（ねね）役、黒木真二さんには、若き日の南部直義役を演じていただきました。また、清心尼公役には、根城南部氏の遠野移封を含めた、遠野の歴史に深い造詣のある前川さおりさんに演じていただきました。

今年、4年ぶりに八戸から新田城まつり運営委員会の高橋芳久会長をはじめ、25名の皆様をお迎えし、行列にも参加していただきました。

行列の出発前には、遠野さくらまつり開会式が行われ、多田一彦遠野市長、遠野町まちづくり協議会・松田克之会長、新田城まつり運営委員会・高橋芳久会長からご挨拶がありました。なお、ゲストのあんべ光俊さん、近衛はなさん、黒木真二さんからも南部氏遠野入部行列参加への意気込みをお話していただきました。

行列は、あんべ光俊さんと松田克之会長の威勢の良い掛け声と同時に出発し、遠野太神楽を先頭に、約1時間ほど中心市街地を練り歩きました。



# 鍋倉公園地内清掃

4月16日（土）、鍋倉公園において、鍋倉公園地内清掃が実施されました。

この活動は、遠野町まちづくり協議会が主催し、国指定史跡となった「鍋倉城跡」の環境整備を、遠野さくらまつり開催期間の前に実施し、市民の憩いの場・観光の名所として、鍋倉公園の利用を促進することを目的として、毎年この時期に実施されています。

清掃には、多くの地域住民の方に参加いただき、枯れ木の整理や、落ち葉の除去、側溝の掃除など約2時間ほどの作業で、公園内が綺麗に清掃されました。



落ち葉の除去作業行う第5区のみなさん



側溝に溜まった泥を除去する第2区のみなさん



参道の落ち葉などを取り除く第11区のみなさん



番組スタッフと打ち合わせを行う出演者の方々



出演者の方々と町婦協のみなさん

岩手めんこいテレビ  
テレビ番組制作協力

4月11日（火）、遠野町まちづくり協議会、遠野町地域婦人団体協議会では、4月29日（土）祝に放送された、岩手めんこいテレビの番組「山・海・漬・いわて城あるきシリーズ」に鍋倉城跡が取り上げられ、制作協力を行いました。番組制作のため、番組スタッフの方とのスケジュール調整や、出演者の方の衣装の着付けが行われました。また、番組の中では、南部氏遠野入部行列の紹介も行われました。

## お知らせ

### 鍋城大学5月講座

日時：5月26日（金曜日）

13:30～

場所：あえりあ遠野もみじ

テーマ：国指定史跡鍋倉城跡と遠野の歴史

講師：遠野市市史編さん室

次長 前川 さおり先生

## 編集後記

今年のさくら祭りでは、残念ながらさくらが早く咲いたことにより、さくらはありませんでしたが、昨年に引き続き、スペシャルゲストをお迎えし、また4年ぶりに八戸の方々をお迎えし、盛大な入部行列となりました。

また、多くの方々にご協力いただき、無事終了することができ、良かったと思います。  
小豆嶋

## 遠野町5月・6月主な行事予定

5月22日月曜日

ふれあいホーム遠野8区～15区  
(あえりあ遠野中ホール 10:00)

5月26日金曜日

鍋城大学開講式・5月講座  
(あえりあ遠野もみじ 13:30)

6月5日月曜日

遠野地区民生児童員協議会定例会  
(市民センター講義室 13:30)

6月7日水曜日

遠野町まちづくり協議会第3回自治会長会議  
(市民センター講義室 15:00)

6月12日月曜日

ふれあいホーム遠野1～7区  
(あえりあ遠野中ホール 10:00)

## 遠野町まちづくり協議会とは ～ series 5 部会編～

遠野町まちづくり協議会は、4部会を組織し運営しています。各部会ごとに分野別目標を定め活動しています。今回は教育文化部会をご紹介します。

教育文化部会は、学校と地域の連携、社会教育・生涯学習の推進、伝統文化の継承、また新しい事業として、遠野遺産をめぐるウォークラリーの開催など、地域の教育や、文化保全・継承の充実に向けて日々取り組んでいます。